

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本有数のハッチョウトンボ生息地の環境整備
事業主体 (連絡先)	新山トンボの楽園を育てる会 事務局：伊那市富県1301 電話0265-72-5816
事業区分	環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	2,056,000円 (うち支援金：1,300,000円)

事業内容

老朽化した、木造の遊歩道の一部改修工事の実施。
三年計画で実施完了の予定。

- ・環境保全のため会員による草刈作業実施
春5月28日…52名参加 秋11月13日…38名参加
- ・歩道改修の経費削減のため、会員による今年度改修部分の旧歩道撤去作業実施10月9日…56名参加
- ・トンボの楽園観察会実施7月4日…120名参加
(コロナ禍で縮小開催)
- ・延期になっていた歩道の改修工事実施
12月20日から1月21日



【旧歩道撤去作業】

【目標・ねらい】

- ① 地域内外への宣伝と観察者の増加
- ② 環境保全と生息地の拡大
- ③ トイレ等の整備

事業効果

- ① 配水路の影響でトンボの生育地が変化したため、当初の計画を変更し、急を要する東の地域の工事を今年度着工した。(事業の内容変更承認9月8日)
この結果これからのトンボの生息地の拡大が期待される。
- ② 各報道機関や公民館及び市内の小学校に観察会実施の宣伝をした結果、コロナ禍と雨天にも関わらず観察者が訪れた。また9月15日、長野朝日放送開局記念番組「水と命のシンフォニー」に取り上げていただき、県下多くの人から反響があった。
- ③ 数名の会員申込みがあり、現在会員数は78名。

※自己評価【 B 】

【理由】

観察会当日はコロナ禍と雨天のため参加者は少なかったが、季節を通して普段の観察者は途切れることなく多かった。

今後の取り組み

まずは、3ヶ年計画で歩道の改修を進める。このトンボの楽園を取り巻く環境保全には、トンボの生育環境保持に重点をおくが、トイレ・休憩所をはじめとする施設の不備等の、受け入れ態勢に課題が多く今後、会員と共に地域と連携を図りながら持続可能な生育環境整備に取り組む。また、報道関係及び公民館活動を通して、広く多くの人々に貴重なハッチョウトンボの生育できる環境の大切さを発信していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある